

第13回

落語inおおや!

全国素人名人会



日 時

令和元年 7月27日(土)

開演: 午後2時
(開場: 午後1時30分)

会 場

養父市立おおやホール

入場料

500円 (当日分は500円増し)

チケット発売日
令和元年 6月21日(金)
午前9時~

チケットのお求め
お問い合わせ

養父市立おおやホール
TEL 079-669-0120

プレイガイド
(チケット販売所)

あゆ公園ブレコグロス(加保) / 才木商店・ヘアメイクさいとう
(大屋市場) / 分散ギャラリー養蚕農家(大杉) / 八鹿公民館
養父公民館 / 関宮公民館 / 大屋地域局

主催 / 落語inおおや! 実行委員会・おおやホール文化振興会・養父市立おおやホール

第13回 落語かぢぢや！全国素人名人会 出演者紹介

つきた亭 白もち (つきたてい・しろもち)



本名、川崎結友（かわさき・ゆうすけ）。たんたん落語笑年団に所属。出石永楽館で行われた「全国子ども落語大会」で決勝進出。大阪の大会でも入賞し、2年連続で天満天神繁昌亭の高座に上がっている。「5歳の落語家」としてYahoo! のトップニュースにもなった。現在7歳。豊岡市立五荘小学校1年生。

千里家 圓九 (せんりや・まるく)



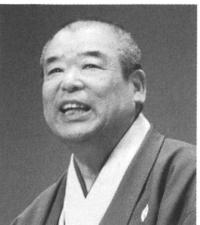
本名、西本文洋（にしもと・ふみひろ）。1968年、大阪府生まれ。豊中市職員。「高石落語集団パンセの会」と「社会人落語集団天狗の会」に所属。落語だけでなく、笛・太鼓も器用にこなし、名ビラの寄席文字も書く。「ボーッとしてたら上方社会人落語連盟代表に就任し、4年目になりました」ということだが、名実ともに社会人落語界の実力者とまわりのみんなが認めている。

粗忽家 酔書 (そかつや・よいしょ)



本名、桶川律暢（おけがわ・りつのぶ）。鳥取県出身で福岡県在住。私立高校の教員。大学で落語研究会に入り、卒業後、「宗像落語会」を結成。2007年から始めた毎月開催の「ゆりっくす日曜百円寄席」は2019年度で13年目になる。落語だけでなく独学で身につけた紙切りも披露し寄席を盛り上げる。また、寄席囃子の太鼓方も務め、プロの落語会でもバチを握る。宗像落語会会長。

春歌亭 丹馬 (しゅんかてい・たんぱ)



本名、田中久典（たなか・ひさのり）。1953年、兵庫県生まれ。元高校教諭、現在高校講師。28年前に但馬・丹波のアマチュア落語家でつくる「たんたん落語会」を結成し、地元各地で定期寄席を開催しているほか、敬老会、高齢者学級、PTA総会、各地区の文化祭など、あちこちに出演。昨年から笑福亭鶴笑さんとのプロ・アマ共演の落語会を始めた。また、出石永楽館での「全国子ども落語大会」の事務局長もつとめる。

簞の家 小夏 (ささのや・こなつ)



本名、外山節子（とやま・みさこ）。1964年、静岡県生まれ。東京都台東区在住。大家が錢湯、が自慢。風呂無しクーラー無しの生活だったが、3年前にクーラー設置。快適な夏を過ごしている。学生時代落研だったが、まさか社会人で落語をやっている人などいないだろうと落語を封印。18年前そういう人に出会って再開。現在に至る。

銀杏亭 福豆 (いちょうてい・ふくまめ)



本名、寿山安紀（すやまあき）。兵庫県生まれ。身長170cm。「豆」という言葉からは程遠い、長身の女流漸家（自称）。子どもの頃から喋ることが大好きで、電車で隣に座ったおじいさんに「すやまあきです、お名前は？」と自己紹介をはじめる始末であったらしい。その性格が幸いしてか、落語を通じてできた友人「ラクトモ」が全国にいる。現在、兵庫県で新任高校教師としてティーンエイジャーたち相手に奮闘中。

秋風亭 てい朝 (しゅうふうてい・ていちょう)



本名、沖博義（おきひろよし）。1956年、広島県生まれ。昨年4月、38年間勤務した（株）鴻池組を定年退職し、本年4月からは（株）NTTファシリティーズの営業マン。長年、広島演芸協会（会員18名）の会長を務める。「てい朝の落語をぶつ会」は24年目で55回、広島演芸協会の定期寄席「話芸に親しむ」は23年目で114回を数える。広島で落語教室の講師を務め、地元TV局のアナウンサーにも落語を教えていた。趣味は糠漬けと園芸。

下座紹介

千里家 一福 (せんりや・いつぶく)



本名、土井道渡（どい・みちと）。1984年、大阪府生まれ。大阪でシステムエンジニアとして働く傍ら、「高石落語集団パンセの会」、「社会人落語集団天狗の会」に所属。進学した関西大学の落研（落語大学）で三味線に出会い、寄席囃子の魅力に取り憑かれる。年間50公演以上もの落語会に顔を出し、三味線を弾いている。太鼓は粗忽家酔書ほか、笛は千里家圓九。